

学び・遊び・笑う 地域でつくる笑顔の場

●●● 放課後子ども教室 ●●●



7月23日、柘植放課後子ども教室で絵画教室が行われました。普段は、週に1回、放課後に小林集議所へ児童が集まり、卓球をして体を動かしたり、宿題や勉強をしたりしています。

夏休みに入ったこともあり、地元の元美術教諭の手ほどきで、思い思いの色や形を筆にのせて自由に表現していました。子どもたちは、のびのびとした様子で「絵を描くのは面白い」「ちょっと難しかったけど、できてよかった」などと感想を話し、ボランティアの方々のでき上がった絵を満足そうに見つめていました。



※「放課後子ども教室」とは、地域の人々が中心となって、小学校区単位で学習やスポーツ・遊びを通じて大人と交流し、子どもたちの居場所づくりを推進する事業です。(問い合わせ/教育委員会生涯学習課 ☎ 22-9679)

自然いっぱい! 元気いっぱい!

●●● 子ども自然体験学習 ●●●



7月27日、島ヶ原地区青少年育成市民会議事業として、島ヶ原小学校4・5年生33人が南伊勢町の“ふれあいと体験の館『海ぼうず』”で子ども自然体験学習を行いました。

『海ぼうず』は、旧相賀小学校の校舎を利用して、人や自然との交流を楽しむ多目的宿泊施設で、グリーンツーリズム体験、体験学習の拠点となっています。

山に囲まれて暮らす子どもたちは、海の景色やイカダでの養殖漁業の餌やり体験に感動していました。また、午後からは海水浴を行い、海ではしゃぐ子どもたちのまぶしい笑顔が印象的でした。子どもたちは楽しい1日を過ごしました。



産学官連携伊賀研究拠点の活用を

●●● 産学官連携セミナー ●●●

7月31日、ウェルサンピア伊賀で『三重大学産学官連携セミナー2008 in 伊賀』を開催しました。このセミナーは三重大学と伊賀地域の企業などが、共同研究の可能性を探ることを目的としたもので、市内の企業などから128人が集まりました。

開会のあいさつで今岡市長は「三重大学と伊賀市で進めてきたこの事業に、企業などの皆さんもご理解をいただき、参加してほしい」と話しました。



また、来年2月に完成予定の三重大学伊賀研究拠点の機能について、三重大学大学院生物資源学研究科の前田^{ひろと}広人教授が説明しました。

この拠点の平成20年度からの取り組みとして、廃食用油などを利用したバイオマスエネルギーの高度化研究などが行われる予定です。



やぶっちゃんにみんな集まれ、お祭りだっ！！

●●● しまがはら夏まつり ●●●

8月2日、しまがはら温泉やぶっちゃん温浴棟前で『2008しまがはら夏まつり』を開催しました。この日はとても天気がよく、会場は多くの家族連れや浴衣を着た人たちが賑わいをみせました。



出展コーナーでは、島ヶ原の人たちによるおよそ20店の販売や体験コーナーがありました。国際交流協会が出店したボディペインティングは、ボランティアスタッフが手や顔の一部に絵を書くもので、子どもたちは見本の中から書いてもらうキャラクターを嬉しそうに探していました。

また、たくさんのプログラムで構成されたステージでは魅力ある元気いっぱいのダンスやコーラスなどが披露されました。見ている人たちは、それぞれのプログラムにあわせて、手拍子や一緒に歌ったり踊ったりしながら、ステージ・会場を盛り上げていました。



歌とメロディーで奏でる地域の輪

●●● 中瀬ふれあい夏まつり ●●●

8月9日、中瀬小学校で『中瀬ふれあい夏まつり』が開催されました。このまつりは、地域住民のふれあいと人権について考えてもらうことを目的に毎年行われ、今回で15回目の開催です。

グラウンドでは地元の方たちの模擬店が並び、特設ステージでは歌や演奏の発表がありました。まず、ミニコンサートとして桃青中学校の吹奏楽部による演奏と中瀬小学校6年生の児童によるコーラスがあり、それぞれに一生懸命練習した曲を披露しました。

また、この日のメインイベントであるエスぺランサのトーク&コンサート「夢をあきらめないで」が行われ、フルート奏者の奥田良子さんとベース奏者の奥田勝彦さんのご夫婦が奏でる美しい音色が会場を包みました。



夏だ！花火だ！ふるさと大山田のにぎわい

●●● 大山田ふるさと夏まつり ●●●

8月15日、大山田ふるさと夏まつりが大山田せせらぎ運動公園で行われ、市内外からの来場者で大変賑わいました。

地元の団体や、事業者などの出店があり、うどん・飲み物などを買い求める客で列を作りました。

ステージでは主催者のあいさつのあと、地域の保育園などの園児たちが楽しそうにダンスを披露しました。

また、大山田ふるさと音頭が始まると、ステージ前で見ていた人たちも踊りの輪に加わって、みんなで踊りを楽しみました。

ステージでのイベントが終わり、創作花火に点火が始まると、観客からは歓声や拍手が送られました。

最後に打ち上げ花火があがり、夏の大山田の夜空を飾りました。

